



第六次塩尻市総合計画 タウンミーティング（市民説明会）

次第

- 1 あいさつ
- 2 第六次塩尻市総合計画の策定について
- 3 市民アンケート結果速報について

令和4年 7月23日(土)・31日(日)19:00~20:00

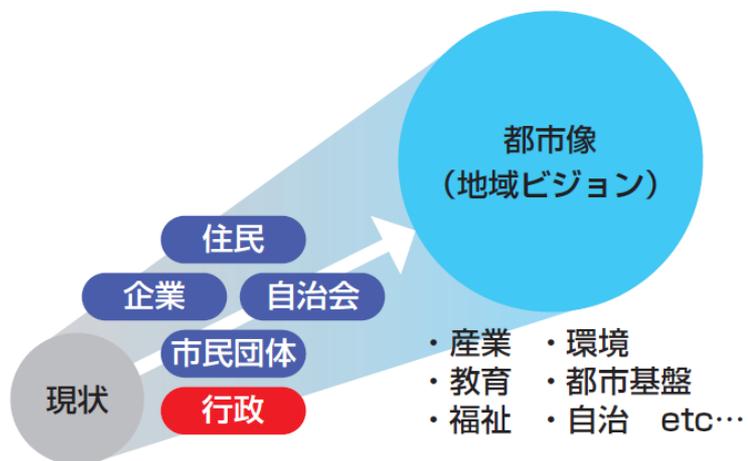
「塩尻市総合計画」とは

次の9年間で

○市民とともに目指す都市像

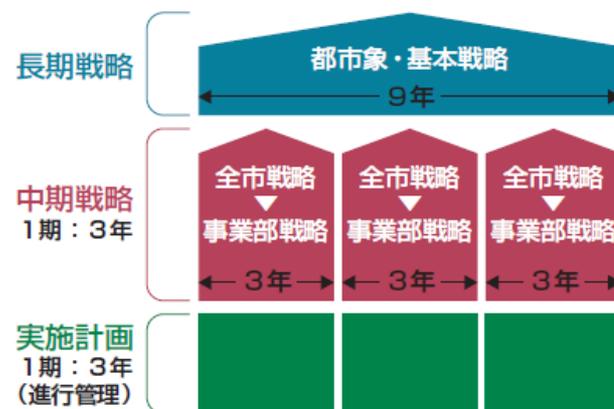
○重点（優先的に取り組むべき）分野や成果を上げるための中長期の方針を定め、最上位の計画として市政の基調となるもの

⇒予算や活動（人員配置など）の配分方針



現在は 第五次計画（平成27年度～令和5年度）を推進中

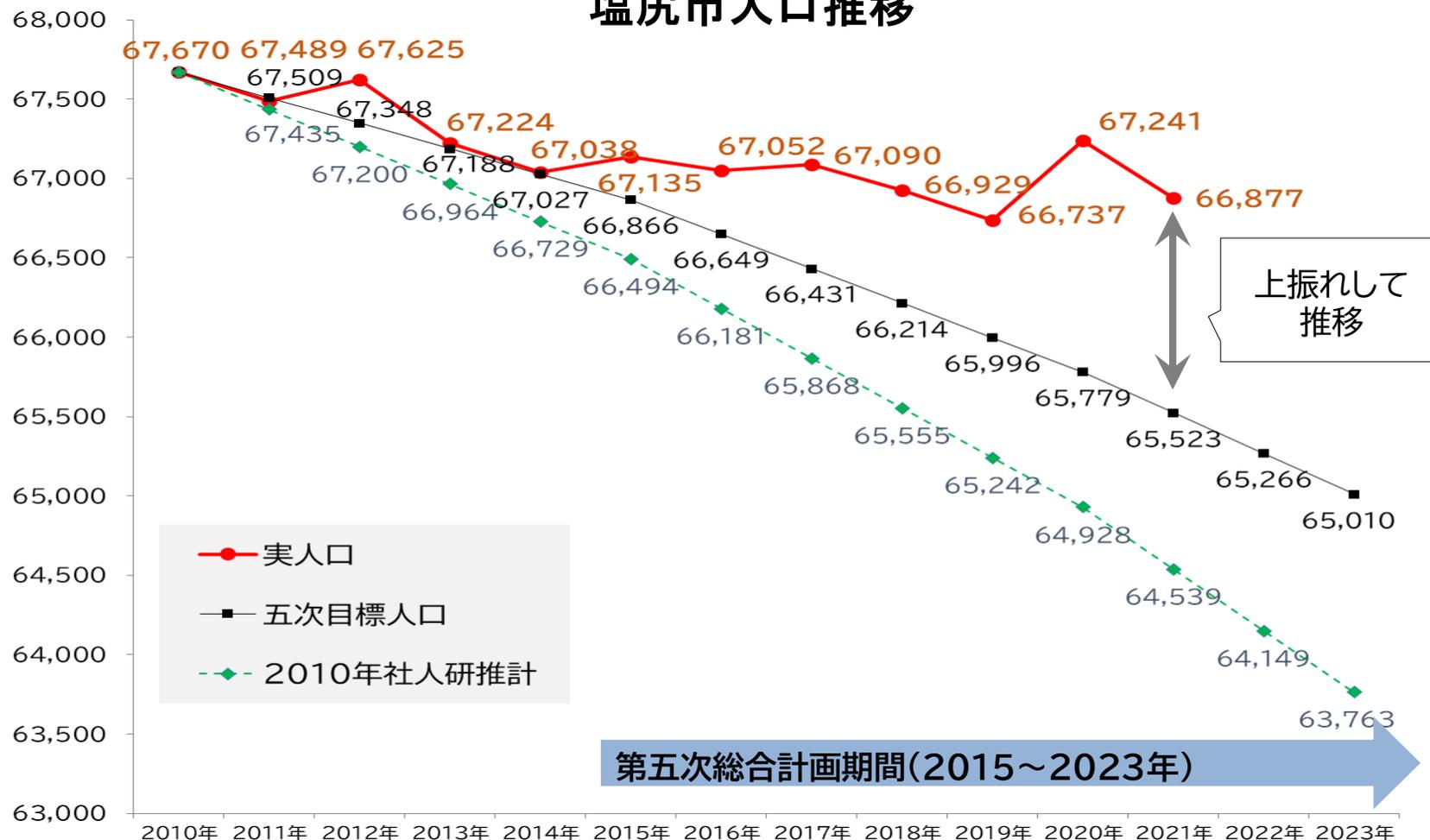
今後 第六次計画（令和6年度～令和14年度）を策定



外部要因も含めた市政の結果①

国の推計よりも減少を抑制するとした第五次総合計画の目標人口に対して、実人口は 2021年現在で1,354人上振れしており、**順調に推移**している。

塩尻市人口推移

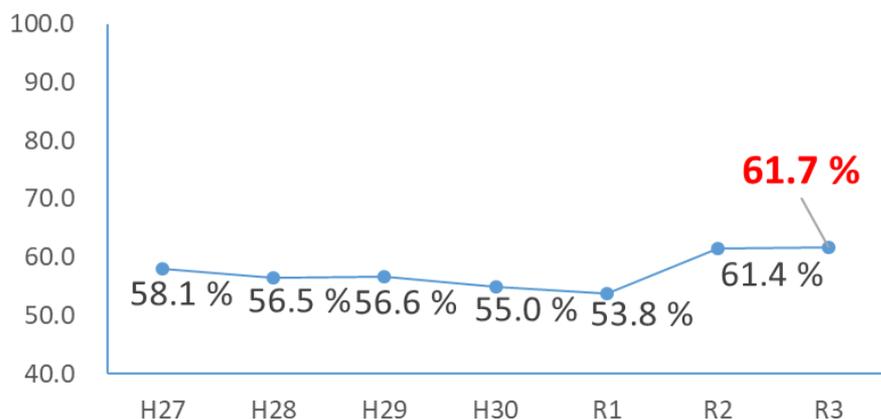


出典: 国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査、毎月人口異動調査

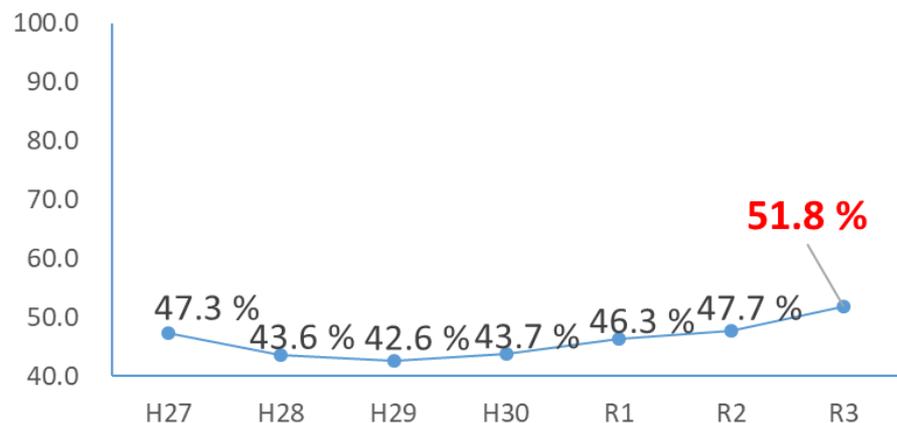
外部要因も含めた市政の結果②

毎年実施している市民意識調査でも、**重点化した分野や総合的評価において緩やかに上昇、市民が実感するレベル**となって現れてきている。

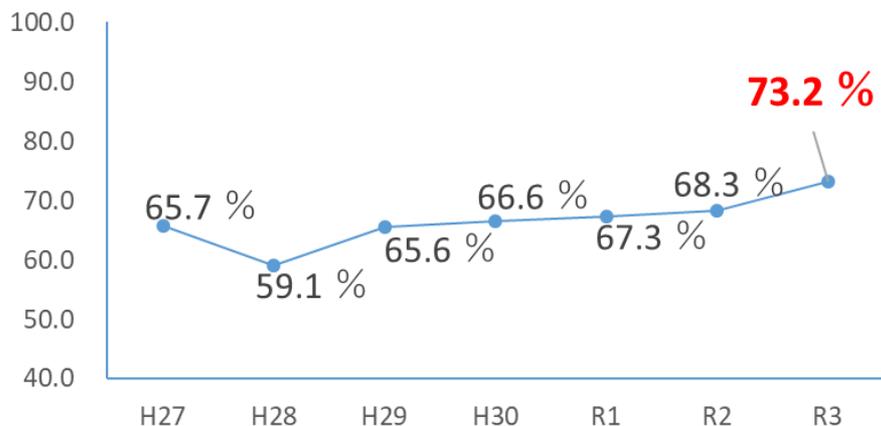
「子育てしやすいまち」であると思う市民の割合



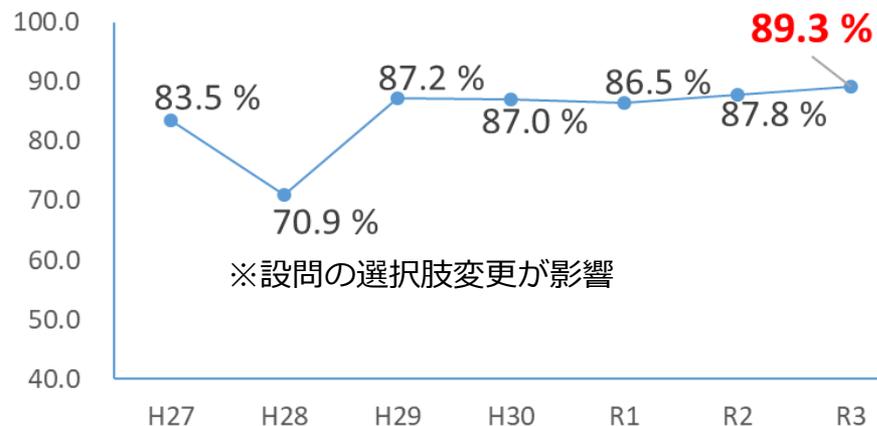
塩尻市を他地域に誇れると感じる市民の割合



塩尻市での暮らしの満足度



塩尻市に住み続けたいと思う市民の割合



出典：塩尻市 市民意識調査

第六次総合計画策定の方針

持続可能であり、本市に関わる多様な関係者が誇りと愛着を持って塩尻市を作っていくため、総合計画の策定方針を次のように定めます。

■計画の性格・内容

目指す姿や課題を示し、行政の経営資源等を「何に」優先的に投入して「いかに」取り組むかを明確にした“**未来への投資を示す**”計画とします。

■計画の期間

社会経済の変化のスピードに対応する「**全体で9年間として3年ごとに見直し**」

■策定の視点・考え方

- 資金だけでなく活動・時間も含めた未来投資について、**継続的に取り組む長期投資か、数年間のうちに成果に繋げる中期的投資か**を明確に
- **ありたい姿**とともに、**現状とのギャップ**を「課題」という形で示す
- 行政資源だけに限らない**市民や企業をはじめ関係人口等との協働・共創**
- 市域という単位で考えるだけでなく、松本平など**広域的な視点**、小学校区などの**小地域**、**世代等による違い**を意識
- **地域ブランド**を磨き上げ、より良い社会・ライフスタイルの実現へ

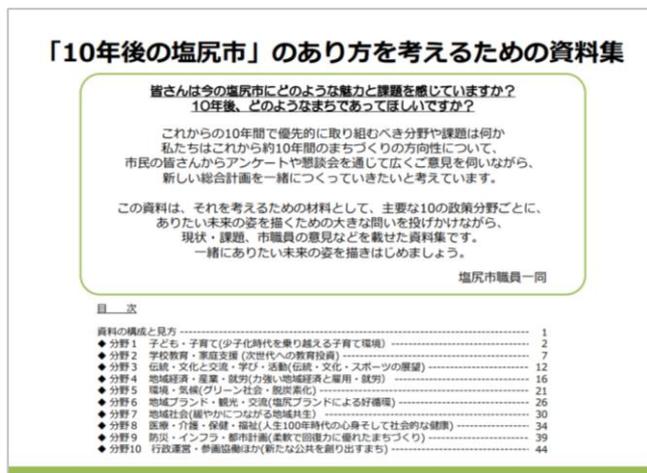
第六次総合計画策定に向けた市民アンケート（速報）

1. 調査の概要

- 調査対象者：塩尻市在住の15歳以上の市民 3,000人を無作為抽出
- 調査期間：2022年5月19日～7月12日
- 調査方法：郵送による配布。回答は郵送とWebアンケートの併用

※調査票とともに政策分野ごとに現状・課題等のデータをまとめた資料集を同封

同封の資料集



Web回答画面



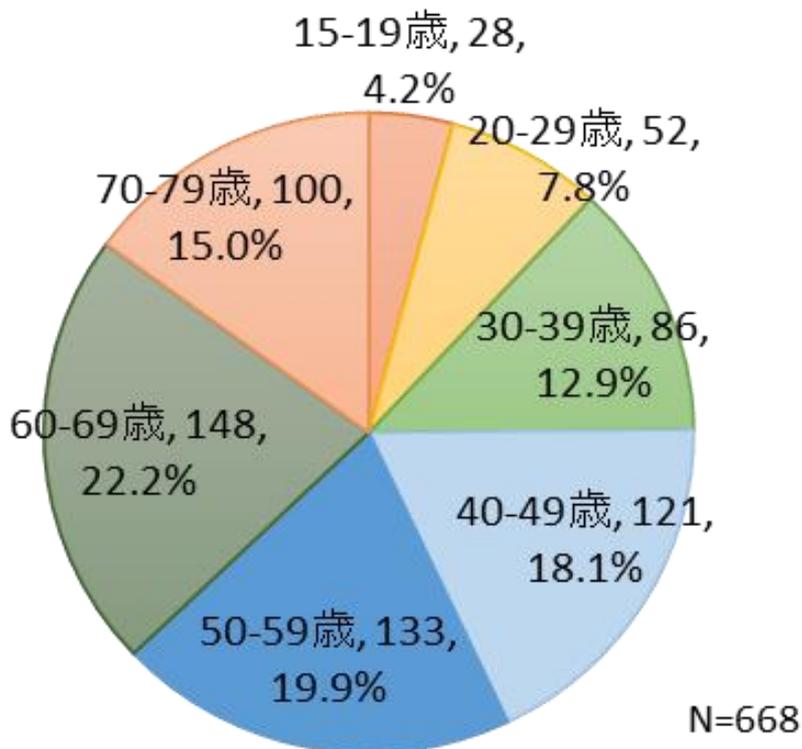
- 回収状況：670サンプル（うちWeb回答289サンプル）

- 有効回収率：22.3% ※回収数は6月27日現在

最終は1,000サンプル,回収率33%程度の見込み

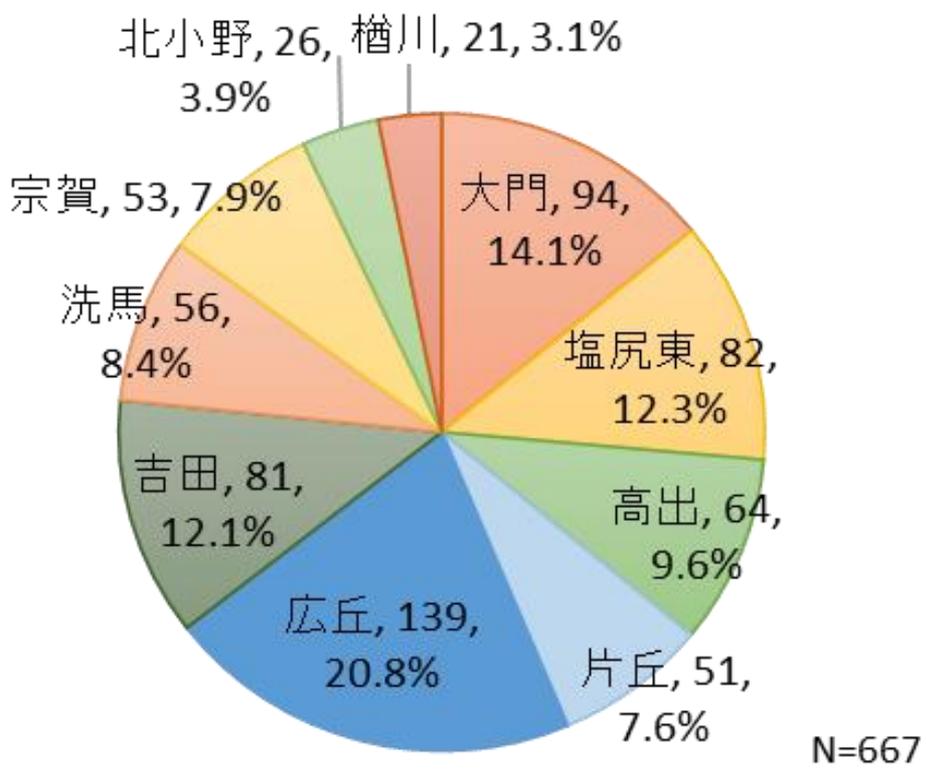
2. 調査結果 (1) 回答者プロフィール

年代分布



➤ 40代以上の回答率が高い。全世代から**バランスよく回答**されている。

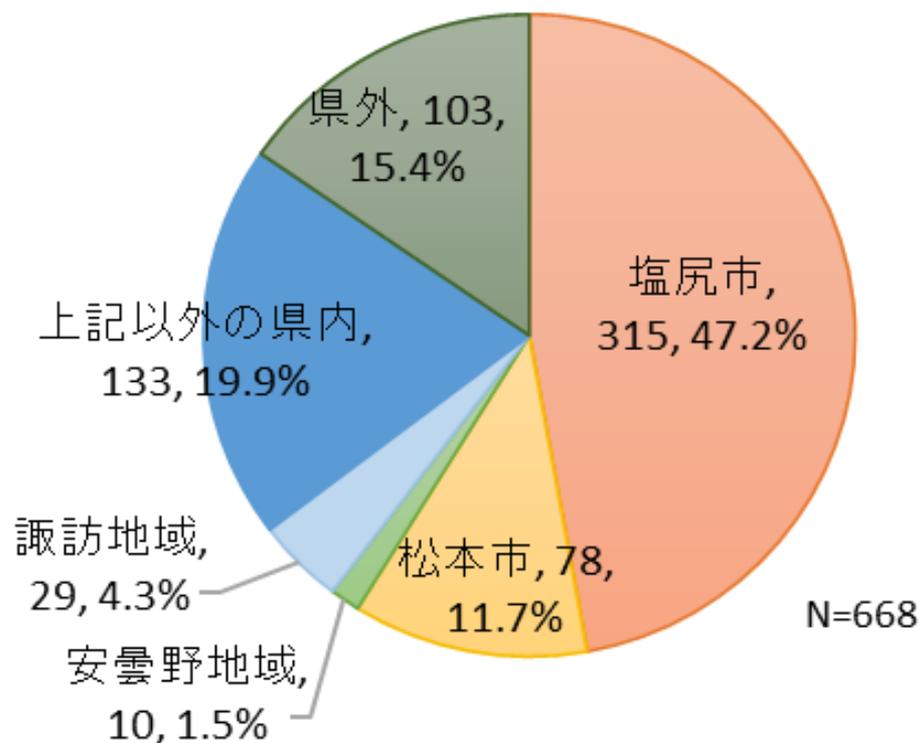
地域



➤ 広丘、大門、塩尻東、吉田の回答率が10%を上回っている。

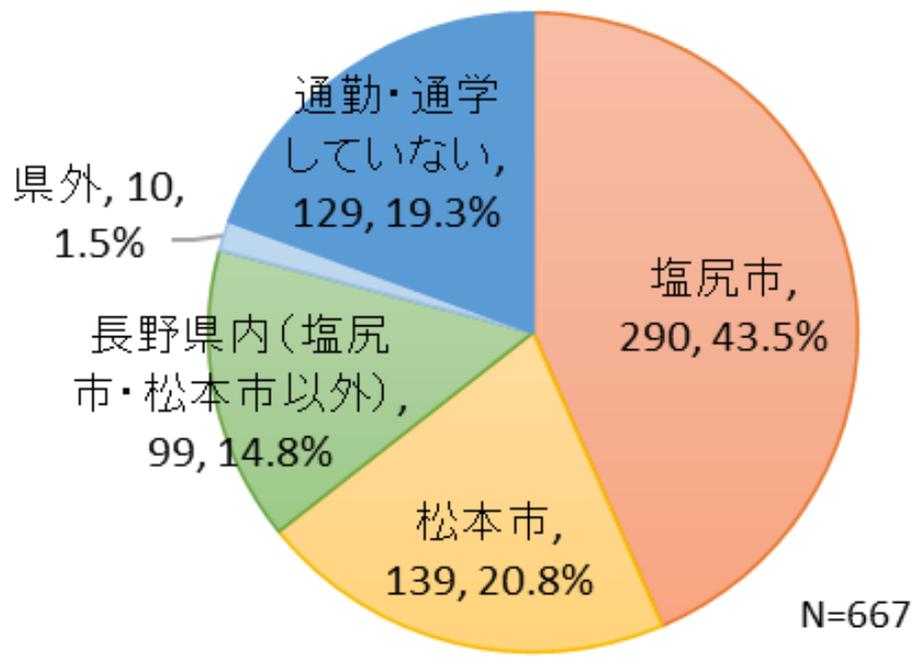
2. 調査結果 (1)回答者プロフィール

出身地



➤ 塩尻の出身者が47.2%。半数以上の方が市外の出身者となっている。

就業地・通学地



➤ 市内への通勤・通学が43.5%、市外へ通勤・通学が37.1%であった。

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

①投資すべきまちづくりの分野 <最優先～3番目の合計回答数>

最優先

①

	度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
子ども・子育て	396	59.9	20.2
学校教育・家庭支援	253	38.3	12.9
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	70	10.6	3.6
③ 地域経済・産業・就労	338	51.1	17.3
環境・気候	74	11.2	3.8
地域ブランド・観光・交流	152	23.0	7.8
地域社会	53	8.0	2.7
② 医療・介護・保健・福祉	420	63.5	21.5
防災・インフラ・都市計画	179	27.1	9.1
行政運営・参画協働	19	2.9	1.0
その他	4	0.6	0.2
合計(回答人数)	661		
合計(回答件数)	1,958		

➤ 最優先投資分野は「子ども・子育て」「医療・介護・保健・福祉」をあげる人が多い。次いで「地域経済・産業・就労」の順に多い。

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

①投資すべきまちづくりの分野 <年代別の比較>

※回答人数ベース

	全体	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳
子ども・子育て	59.8	50.0	71.2	79.1	62.5	48.1	51.0	64.9
学校教育・家庭支援	38.1	82.1	44.2	61.6	39.2	26.3	33.6	22.7
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	10.6	7.1	7.7	9.3	10.0	12.0	14.0	8.2
地域経済・産業・就労	51.3	35.7	61.5	39.5	47.5	55.6	53.1	56.7
環境・気候	11.1	7.1	13.5	3.5	7.5	12.8	15.4	13.4
地域ブランド・観光・交流	23.1	28.6	28.8	18.6	25.0	24.8	23.1	17.5
地域社会	8.0	7.1	7.7	3.5	7.5	9.8	9.8	8.2
医療・介護・保健・福祉	63.6	42.9	40.4	59.3	63.3	69.2	64.3	77.3
防災・インフラ・都市計画	27.2	21.4	23.1	20.9	28.3	33.8	28.7	23.7
行政運営・参画協働	2.9	0.0	1.9	1.2	6.7	2.3	2.8	2.1
その他	0.6	0.0	0.0	2.3	0.8	0.8	0.0	0.0
(回答人数)	659	28	52	86	120	133	143	97

➤ 10代は「学校教育・家庭支援」、20~40代・70代は「子ども・子育て」、20代で「地域経済・産業・就労」、40代以上で「医療・介護・保健・福祉」を投資分野としてあげる人の割合が多い。

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

②大事だと思うまちづくりのキーワード <合計回答数> ※5つまで回答

		度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
子ども・子育て	1 少子化対策	① 231	35.9	8.0
	2 産む環境の整備	③ 178	27.6	6.2
	3 保育人材の確保	67	10.4	2.3
	4 相談・支援体制の整備	65	10.1	2.3
学校教育・家庭支援	5 特色ある教育	64	9.9	2.2
	6 不登校対策	53	8.2	1.8
	7 発達・特別支援の対応	47	7.3	1.6
	8 インクルーシブ教育の推進	17	2.6	0.6
	9 子どもの貧困対策	⑧ 91	14.1	3.2
	10 デジタル技術の活用	57	8.9	2.0
伝統・文化・スポーツ・生涯学習	11 文化・歴史・文化財の継承	48	7.5	1.7
	12 スポーツの振興	34	5.3	1.2
	13 課題解決型図書館			
	14 生涯学習・継続的な学び	25	3.9	0.9
地域経済・産業・就労	15 雇用対策・Uターン就職促進	⑤ 156	24.2	5.4
	16 地域内循環・エコシステムの促進			
	17 農林業の振興	⑥ 101	15.7	3.5
	18 商業・サービス業の振興	⑨ 88	13.7	3.1
	19 工業、企業誘致の推進	76	11.8	2.6
	20 稼ぐ力の向上、労働生産性の向上、高付加価値化	52	8.1	1.8
	21 AI・ロボット化	13	2.0	0.5
環境・気候	22 気候変動への対応	49	7.6	1.7
	23 脱炭素(カーボンニュートラル)の推進	23	3.6	0.8
	24 グリーン成長戦略への対応			
	25 再生可能エネルギーの導入	32	5.0	1.1

上位5つ

- 「少子化対策」
- 「医療体制の充実」
- 「産む環境の整備」
- 「医療・介護人材の確保」
- 「雇用対策・Uターン就職促進」

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

②大事だと思うまちづくりのキーワード(つづき) <合計回答数> ※5つまで回答

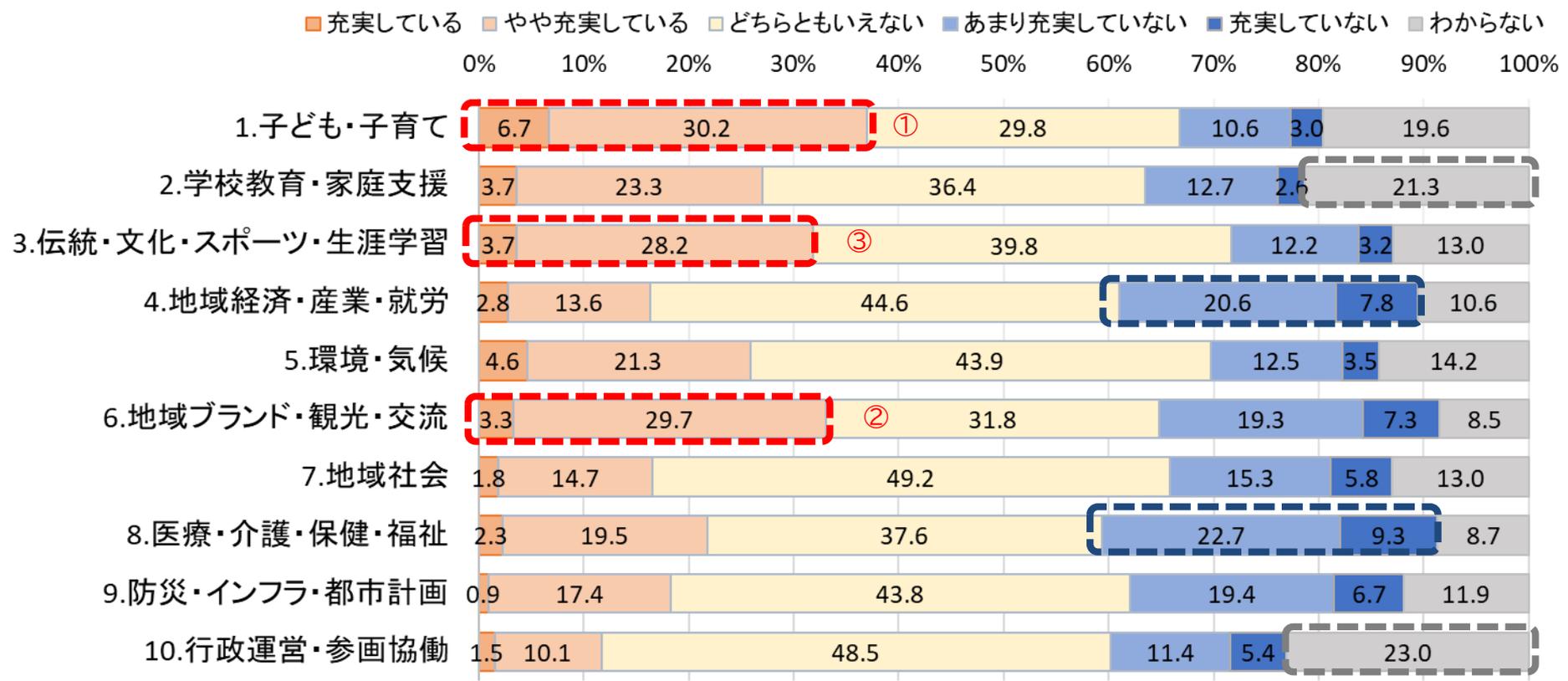
		度数(件)	割合(%) ※人数ベース	割合(%) ※件数ベース
地域ブランド・観光・交流	26 シェックアウト、市への愛着の醸成	22	3.4	0.8
	27 塩尻地域ブランドの確立	61	9.5	2.1
	28 ワイン・漆器など地場産業の振興	49	7.6	1.7
	29 観光資源の磨き上げ	44	6.8	1.5
	30 稼げる観光地づくり	72	11.2	2.5
	31 塩尻ファンや関係人口の獲得	33	5.1	1.1
地域社会	32 自治会組織の見直し	⑦ 95	14.8	3.3
	33 住民同士の支え合い	51	7.9	1.8
	34 自助・互助・共助・公助の整理	18	2.8	0.6
医療・介護・保健・福祉	35 医療体制の充実	② 188	29.2	6.5
	36 医療・介護人材の確保	④ 158	24.5	5.5
	37 介護予防・健康寿命の延伸	65	10.1	2.3
	38 障がい者の社会参加促進	31	4.8	1.1
	39 複合的な地域福祉課題への対応	33	5.1	1.1
	40 ダイバーシティ共生社会の実現			
	41 地域防災体制・意識の強化	51	7.9	1.8
防災・インフラ・都市計画	42 自然災害や感染症リスクへの備え	59	9.2	2.0
	43 公共施設の計画的な維持管理	37	5.7	1.3
	44 コンパ外なまちづくり	31	4.8	1.1
	45 地域公共交通の充実	⑨ 88	13.7	3.1
	46 市民参画・市民協働の促進			
行政運営・参画協働	47 スマート自治体の実現	20	3.1	0.7
	48 DX推進	11	1.7	0.4
	49 行財政改革			
	50 その他	26	4.0	0.9
合計(回答人数)		644		
合計(回答件数)		2,881		

上位5つ

- 「少子化対策」
- 「医療体制の充実」
- 「産む環境の整備」
- 「医療・介護人材の確保」
- 「雇用対策・Uターン就職促進」

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

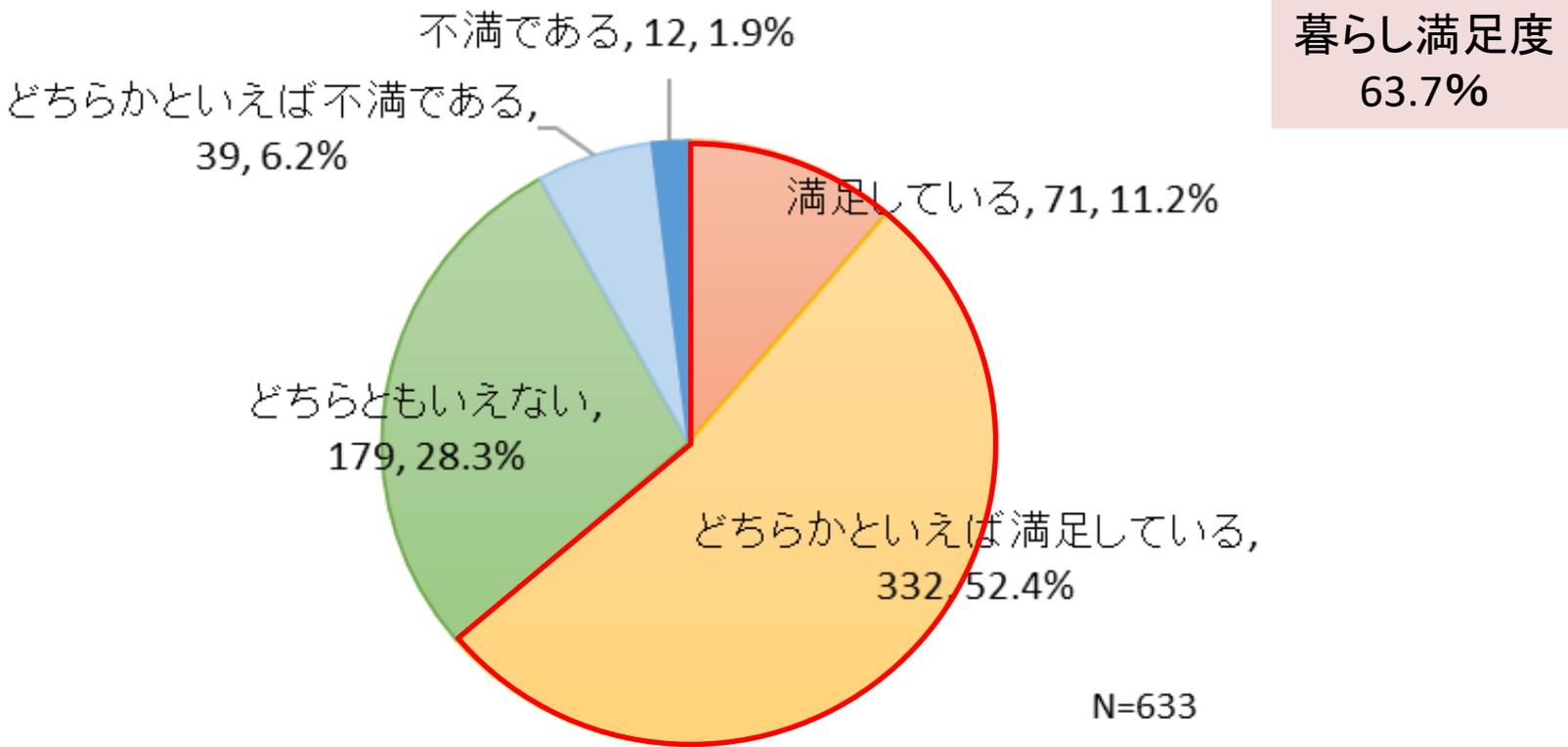
③まちづくり分野別の充実度評価



➤ 各分野の充実度は「子ども・子育て」「地域ブランド・観光・交流」の順で高く、投資すべき分野としての回答が多かった「医療・介護・保健・福祉」「地域経済・産業・就労」で低評価が多くなっている。

2. 調査結果 (2)これからの10年に向けて投資すべき分野

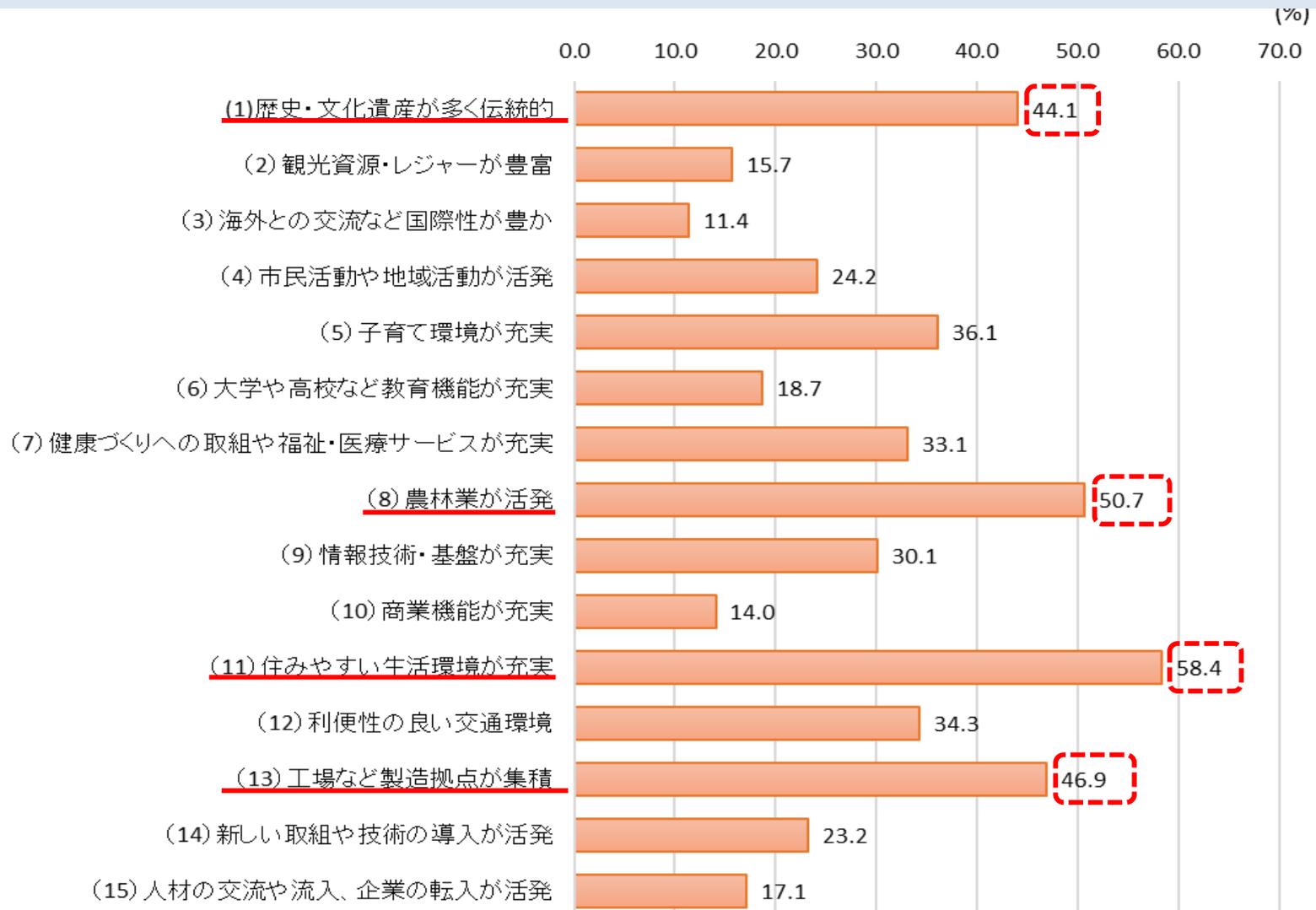
④塩尻市の暮らし満足度



➤ R3年度塩尻市市民意識調査時の暮らし満足度は74.0%であり、今回の調査結果は**通常**の意識調査よりも**厳しい満足度評価**となっている。

(3) 塩尻市の魅力と特徴～ブランドイメージ

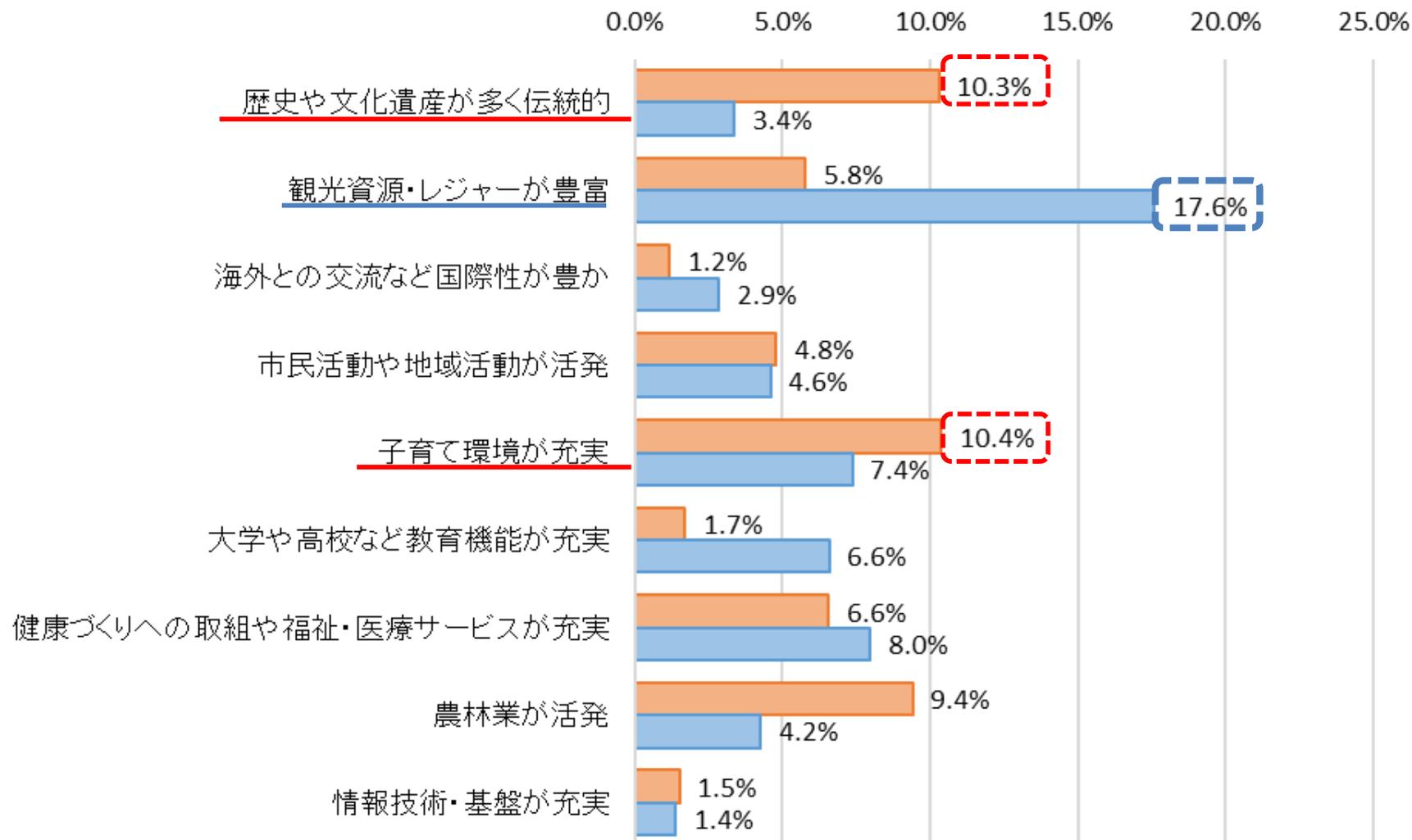
① 塩尻市のイメージ(「あてはまる + ややあてはまる」の合計値)



➤ 「歴史・文化遺産」「農林業」「生活環境」「工場・製造拠点」が多い

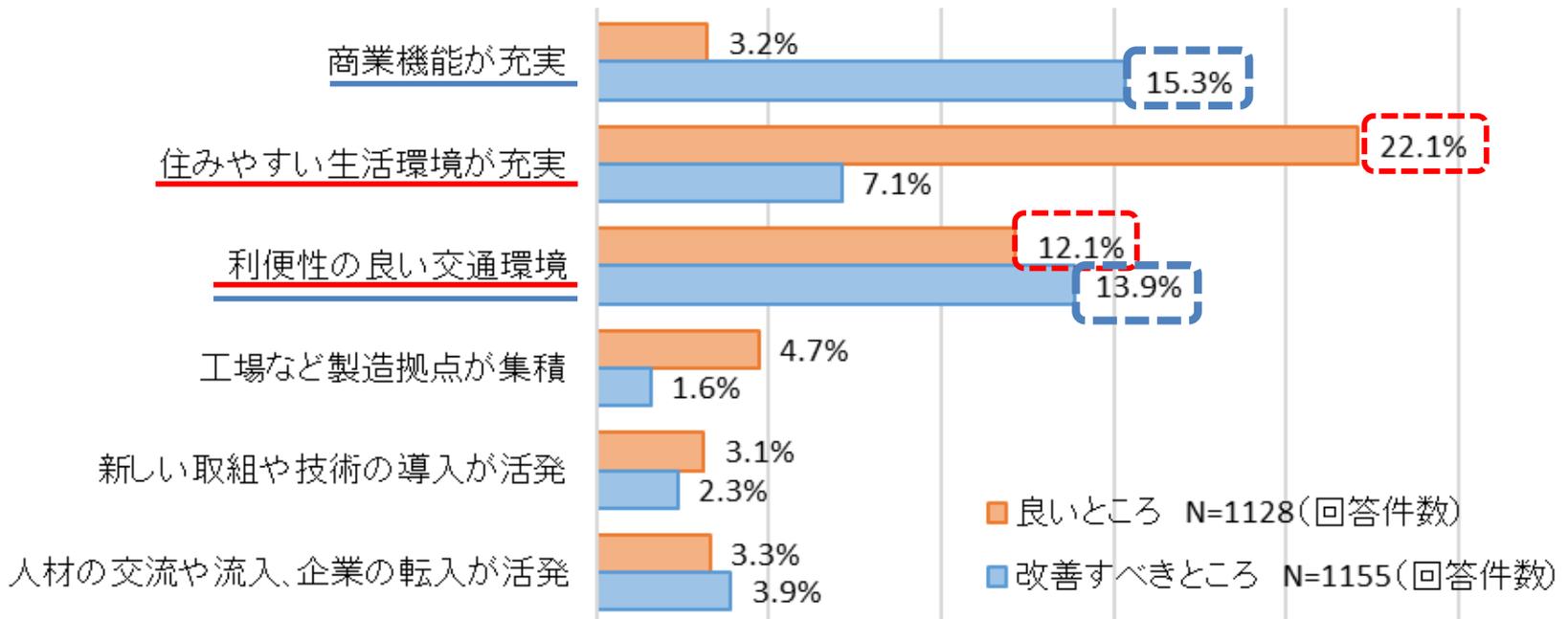
(3) 塩尻市の魅力と特徴～ブランドイメージ

②塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」



(3) 塩尻市の魅力と特徴～ブランドイメージ

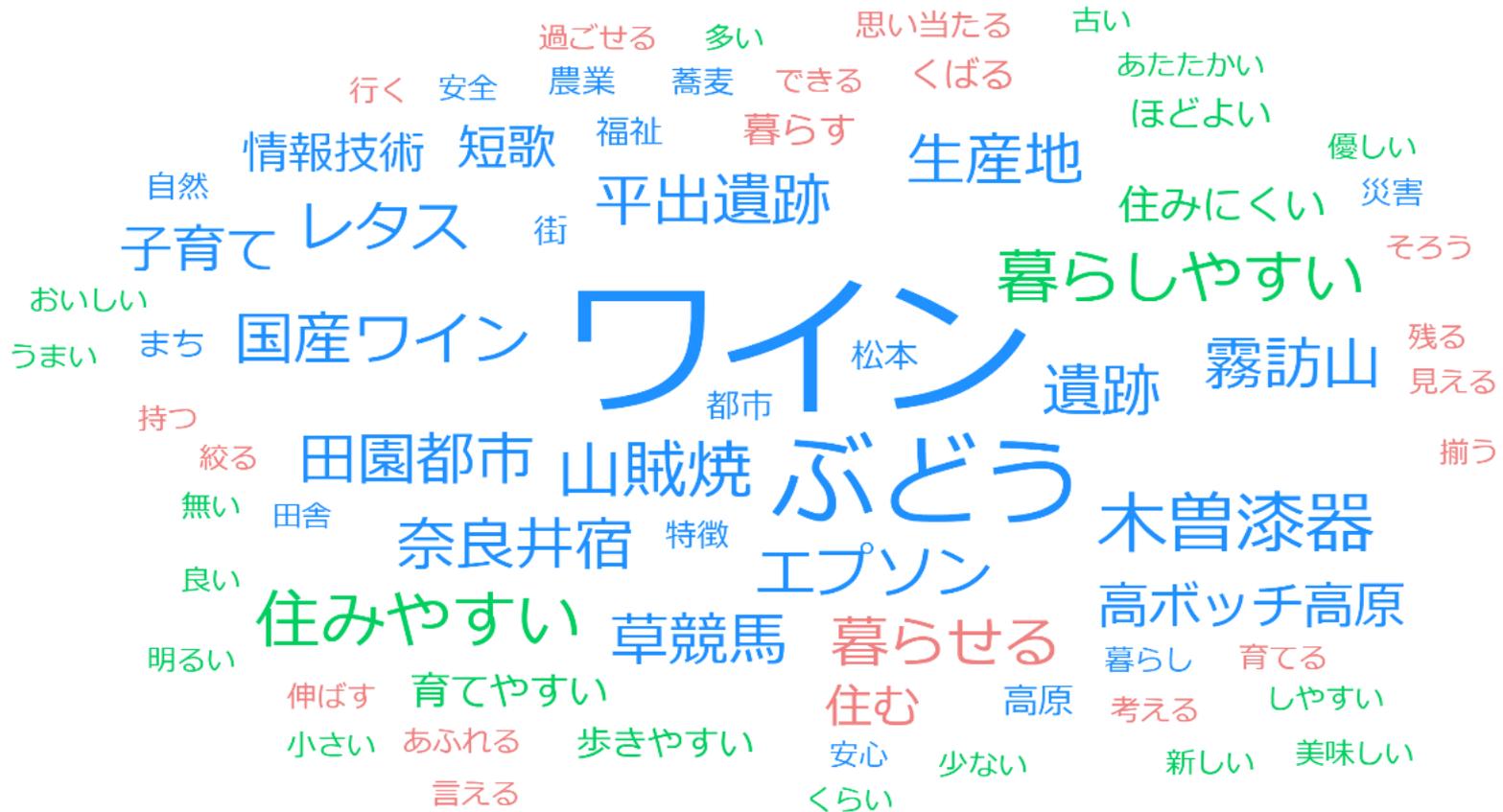
②塩尻市の「よいところ」「改善すべきところ」(つづき)



- 良いところとして最も多くあげられたのは「生活環境」、次いで「交通環境」「子育て環境」「歴史・文化遺産」の順。
- 改善すべきところは、「観光・レジャー」「商業機能」「交通環境」が多くあげられている。

(3) 塩尻市の魅力と特徴～ブランドイメージ

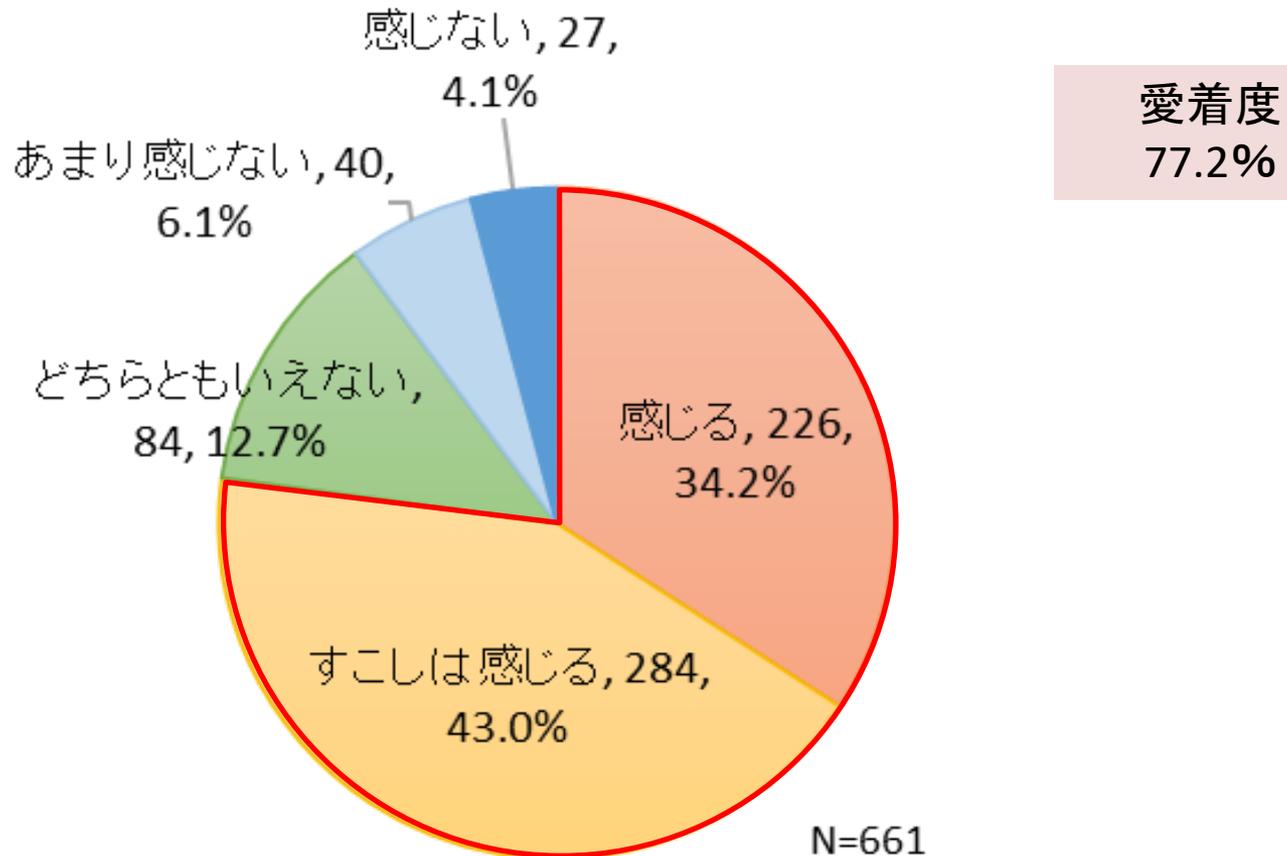
③塩尻市らしさのキーワード(「〇〇」といえば塩尻市)の想起状況



- 「ワイン」が他を大きく引き離している。
- 第2位の「ぶどう」と合わせ、ワインとぶどうが市民が想起する塩尻らしさ。

(4) 塩尻市民のシビックプライド

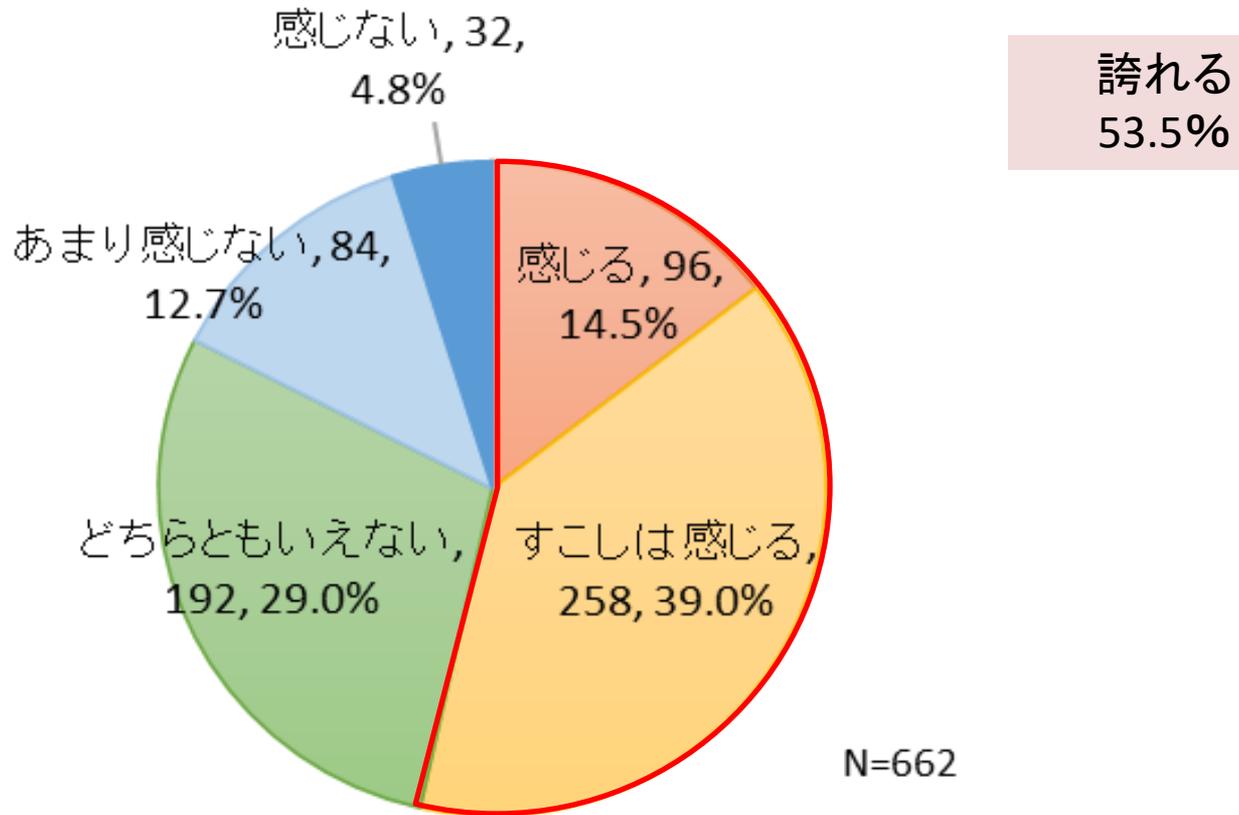
①「自分のまち」としての愛着



- 塩尻市への愛着度は第5次総合計画策定時の調査時よりも4ポイント近く増加している。

(4) 塩尻市民のシビックプライド

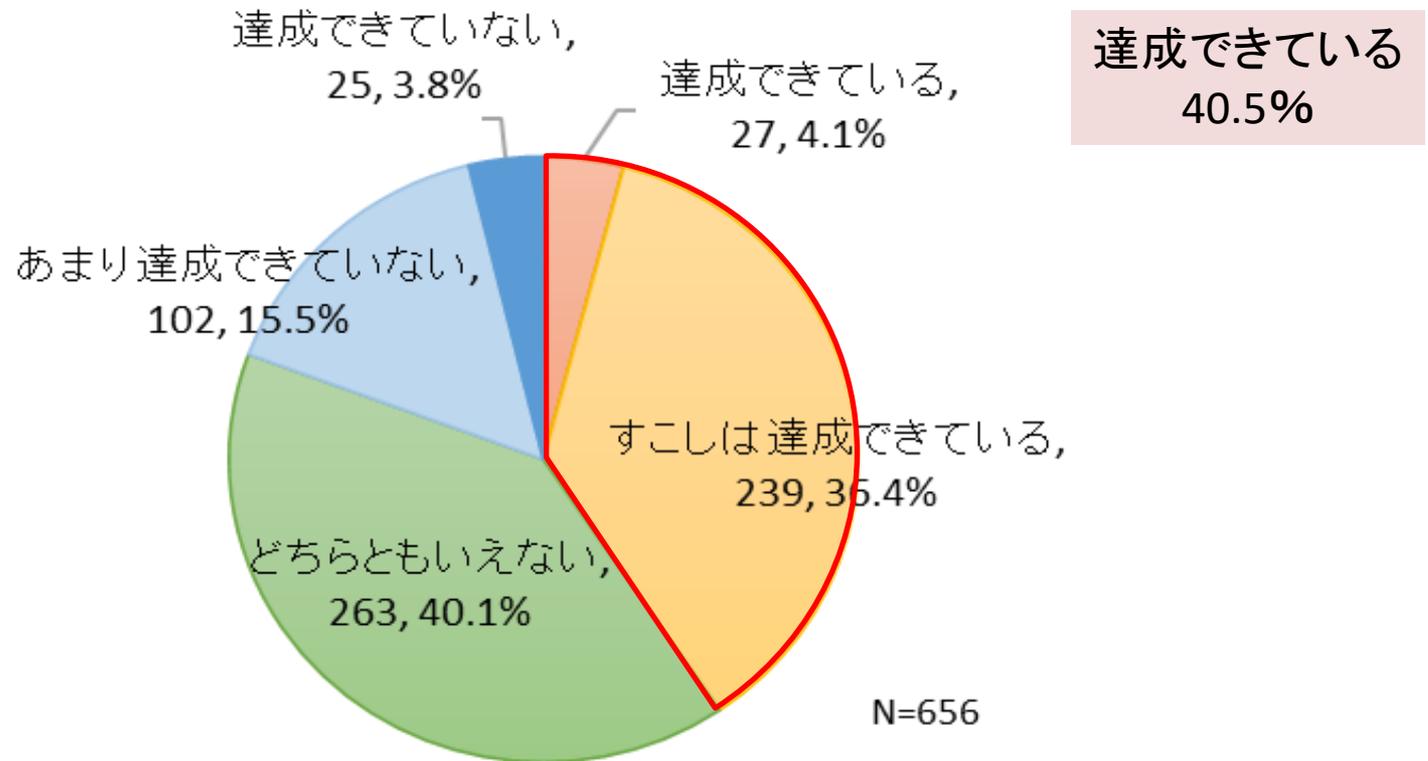
②「他の地域の人たちに誇れるまち」だと感じるか



- 他の地域の人たちに「誇れる」と回答した市民は53.5%で、過半数を超えている。ただし**愛着度とは差**がある。

(5) 都市像の評価 『確かな暮らし 未来につなぐ田園都市』

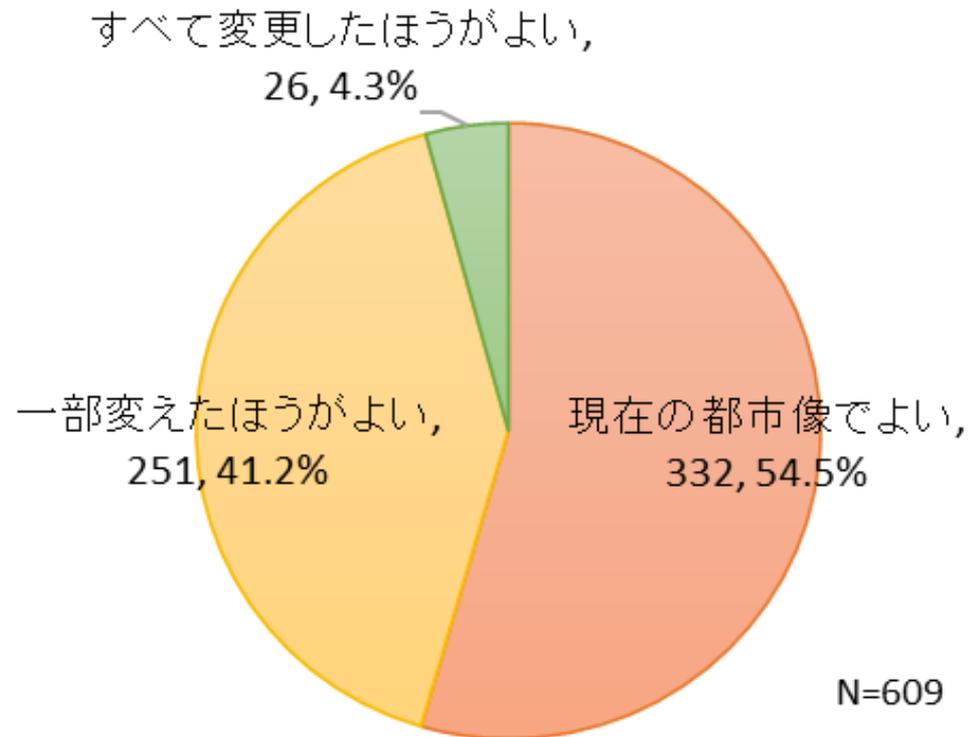
①現在の都市像の達成度



- 都市像を達成できている+少しは達成できていると評価する市民は40.5%。
- どちらともいえないという回答が4割で最も多い。

(5) 都市像の評価 『確かな暮らし 未来につなぐ田園都市』

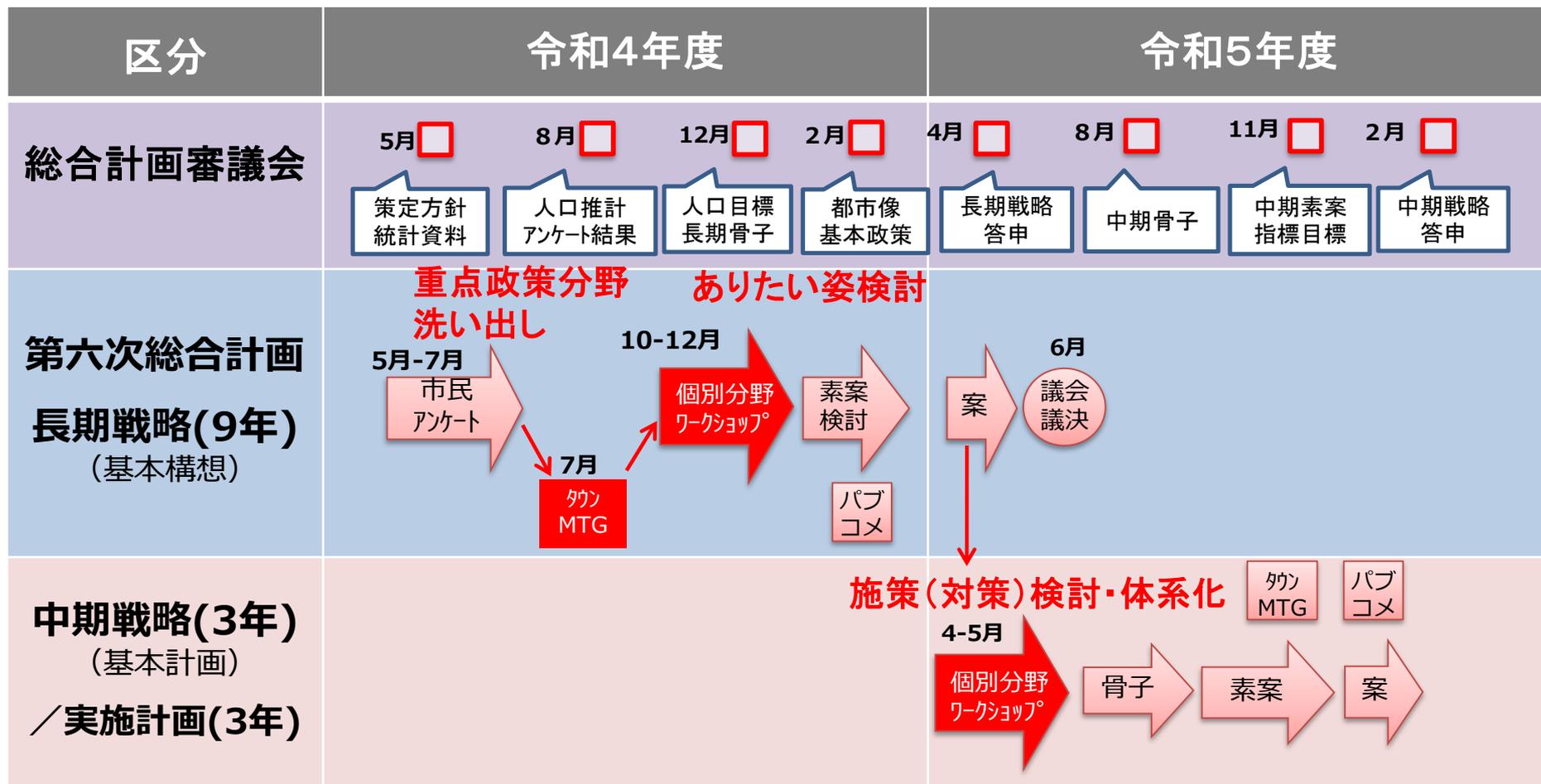
② 都市像の変更の必要性



- 現在の都市像でよいとする回答が半数を超えてはいるが、前回の『ともに築く 自立と創造の田園都市』の時に比べ、「**一部変えたほうがよい**」という**意見が増えている**。

総合計画策定スケジュール

- ▶ 市民アンケートや、タウンミーティング、個別分野のワークショップなどにより市民意見の反映する機会を設けながら、総合計画審議会における調査・審議によって、令和4年度に9年間の長期戦略、令和5年度に当初3年間の中期戦略・実施計画を策定していく。



塩尻市公式ホームページで随時更新

QRコード  もしくは 『第六次総合計画』で検索



第六次塩尻市総合計画（策定中）



ページID : 0021891
更新日 : 2022年7月21日更新
 [印刷ページ表示](#)

塩尻市では、令和6年度から始まる「第六次塩尻市総合計画」の策定を進めています。総合計画は、これからの塩尻市を創造していくまちづくりの羅針盤となる計画です。
私たちは、これからのまちづくりの方向性について、市民の皆さんや事業者の皆さんから、アンケートやワークショップを通じて広くご意見を伺いながら、新しい総合計画を一緒につくっていきたく考えています。

タウンミーティング（市民説明会）※オンライン参加のみ



総合計画の策定の考え方や市民アンケートの結果などを共有し、市民の皆さんの意見を伺う機会として、開催していきます。

重要なお知らせ

- 2022年7月20日更新
[新型コロナウイルス感染症情報](#)
- 2022年6月22日更新
[熱中症予防のために](#)
- 2022年6月1日更新
[【4回目接種】基礎疾患等に関する申告方法](#)
- 2022年1月24日更新
[新型コロナワクチン接種情報まとめ](#)
- 2022年6月27日更新
[低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金](#)

[> 重要なお知らせの一覧へ](#)

 このページを見ている人はこんなページも見ています

- [第五次塩尻市総合計画／長野県塩尻市公式ホームページ](#)
- [組織、各課の主な業務内容／長野県](#)